

サステナブル通信

No.16 2025年1月31日



作成：【サステナブル推進委員】岩間、藤原、北村、相場

CO₂排出量 測定・削減をなぜするのか

①環境保護と持続可能性

- 地球温暖化対策としてCO₂の削減が求められる
- 地球環境を守ること、次世代の子供達も持続して地球で生活できる（SDG s 目標13）

②大企業・金融機関からの要請

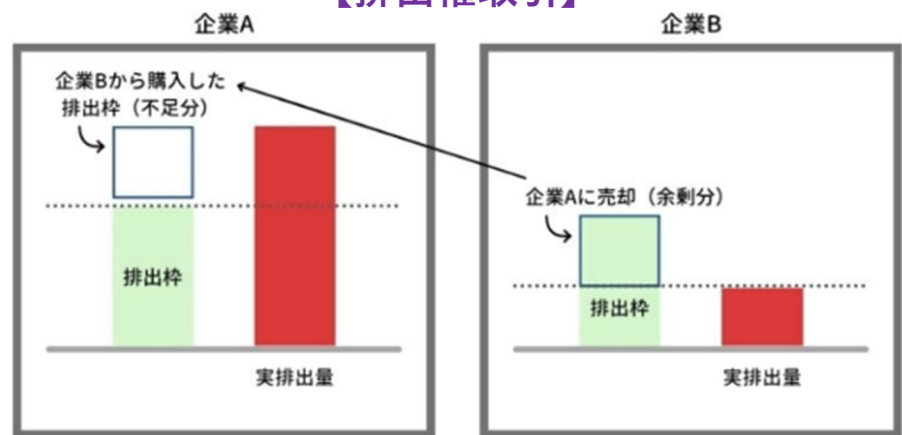
- プライム上場企業は仕入から消費まで全体の流れ（サプライチェーン）のCO₂排出量を開示する義務がある。CO₂排出量が多いと、このような上場企業や環境への意識が高い企業と取引ができなくなる可能性がある。
- CO₂削減に取り組む企業は借入金利が優遇されたり、国や自治体から補助金が出ることもある。

③排出権取引の開始

（当社は非該当・対象＝全国400社位）

- 2026年に年間CO₂排出量10万 t 以上の企業を対象としCO₂の排出枠を与えられる。枠以上の排出量が出れば排出枠が余っている企業から排出枠を買い取って、補う必要がある。
- サプライチェーン全体のCO₂までは含まれない。
- 東京証券取引所ではJクレジットというCO₂削減量等を販売し、環境問題に関心のある企業等が購入）

【排出権取引】



CO₂排出量の種類の紹介

- ①スコープ1 事業者自らによる排出
→工場等での燃料使用に伴う排出、自社所有車の走行、灯油を使用する暖房など
- ②スコープ2 他社から供給された電気、熱、蒸気の使用に伴う間接排出
→電気、蒸気の熱供給など
- ③スコープ3 サプライチェーン（仕入、消費等）に関する間接的排出

